

インターネット技術とその応用論文特集の発行にあたって



インターネット技術とその応用論文特集編集委員会

委員長 地引 昌弘

インターネットは、生活や社会を大きく変化させる原動力として、これまで力強く発展してきた。更には、昨今多発する大規模災害等において重要なライフラインの役割を果たすなど、不可欠な社会基盤としての地位も確立している。その一方で、例えば最近のスマートフォンに代表されるサービスの新たな多様化/高機能化や予測不能な外部挙動による破綻を回避し、豊かな社会生活や新しい産業の創出に向けた社会システム基盤としての責務を果たすため、従来の枠組みにとられない新たな安定性・発展性・経済性についての取組みが重要な課題となっている。

このような状況を踏まえ、インターネットを持続的に発展させるとともに、その社会的課題へ応えることを目的として、インターネット技術とその応用に関連する最新のアイデア/取組みや成果を広く共有し、議論すべく本特集論文を募集した。御投稿頂いた17編の論文に対して厳正な査読を行った結果、ネットワーク制御、計測及びその応用などに関わる計8編の論文が採録された。また、普遍的なネットワークサービス基盤の一つとして、世界的に組織の枠を超えて整備が進む認証技術を取り上げ、社会基盤としての課題やその解決について、運用管理側からの視点で検証する論文を招待論文として寄稿頂いた。

本特集の論文8編は、インターネット技術を共通の研究分野としながら、ネットワークを効率的に制御し、また通信性能を向上させる技術から、ネットワークを応用したサービスの最適化を図る技術まで幅広い研究課題をテーマに、著者の方々が得られた貴重な成果を論じたものであり、現時点における最先端の状況をよく表している。本特集がインターネット技術とその応用に関連する分野の研究開発において、いっそうの発展に寄与できるものと信じる。

最後に、本特集の企画から発行にあたり、最新の成果を反映した原稿を御投稿頂いた方々、御多忙の中で論文査読に御協力下さった査読委員の方々、企画/編集に御尽力頂いた編集委員と幹事各位、並びに予定どおりの発行に向け大きな御支援を頂いた事務局の方々に深くお礼を申し上げます。

地引 昌弘(正員：シニア会員) 平4東工大大学院修士課程了。同年、NEC入社。平15筑波大大学院博士課程了。博士(システムズ・マネジメント)。平18より平21まで、和歌山大システム工学部客員教授を兼任。平23より独立行政法人情報通信研究機構に所属。ネットワーク制御及びその形式化、分散システム、ソフトウェア科学などに興味をもつ。平22本会通信ソサイエティ Best Paper Award受賞。本会IA研究専門委員、英文B編集委員、特集編集幹事/委員多数。

インターネット技術とその応用論文特集編集委員会

- |     |                         |
|-----|-------------------------|
| 委員長 | 地引 昌弘                   |
| 幹事  | 山本 寛・吉田 健一              |
| 委員  | 秋山 豊和・池永 全志・石橋 圭介・宇式 一雅 |
|     | 岡村 耕二・片山 喜章・金岡 晃・敷田 幹文  |
|     | 島岡 政基・菅沼 拓夫・高倉 弘喜・中山 雅哉 |
|     | 橋本 浩二                   |